

少数台数のリコール届出の公表について（平成17年6月分）

リコール対象が少数である100台未満の届出について、平成17年6月は下記のとおり5件（既に公表が行われているものは除く）の届出がありましたので、公表します。

1. 届出者：近鉄モータース株式会社

届出月日	届出番号	車名、型式、通称名等	対象台数	輸入期間
6月13日	外1233	車名：フォード 型式：GF-1FMLU18等 通称名：エクスペディション等	34	平成11年11月15日～ 平成12年9月21日
不具合の部位等		マスターシリンダーに取り付けられている定速走行装置解除スイッチにおいて、当該解除スイッチ内部のシール構造が不適切なため、ブレーキ液が漏れて内部の電気端子にかかり、接点が腐食することがある。そのため、スイッチ内部の抵抗値が高くなり、スイッチが過熱されて溶解し、最悪の場合、火災に至るおそれがある。		

2. 届出者：KTM JAPAN株式会社

届出月日	届出番号	車名、型式、通称名等	対象台数	製作期間
6月14日	外1237	車名：KTM 型式：990DUKE VD949 通称名：990SUPER DUKE	40	平成16年12月14日～ 平成17年3月22日
不具合の部位等		原動機のクランクケースに取り付けられているブローバイガスの逆止弁の（バックプレッシャーバルブ）内面加工に不適切なものがあるため、当該バルブが引っ掛かって固着し、エンジン内圧が適切に抜けず上昇することがある。そのため、シリンダーヘッドカバーのガスケットが抜けてオイルが漏れ、最悪の場合、漏れたオイルがタイヤに付着し、転倒に至るおそれがある。		

3. 届出者：株式会社パブコ

届出月日	届出番号	車名、型式、通称名等	対象台数	製作期間
6月23日	1460	車名：いすゞ 型式：PB-FRR35G3S等 通称名：フォワード	21	平成16年5月31日～ 平成16年11月22日
不具合の部位等		リヤボデーを架装した車両において、リヤブレーキパイプのクランプを取付忘れたため、ブレーキパイプが振動した際、ストッパーリヤボデーの取付ボルトとブレーキパイプが干渉する車両がある。そのため、このまま使用を続けると、ブレーキパイプに穴が明き、ブレーキ液が漏れ、ブレーキの効きが悪くなるおそれがある。		

4. 届出者：株式会社パブコ

届出月日	届出番号	車名、型式、通称名等	対象台数	製作期間
6月23日	1461	車名：いすゞ 型式：PB-FSR35G3 通称名：フォワード	26	平成16年6月30日～ 平成16年11月30日
不具合の部位等		リヤボデーを架装した車両において、ストッパーリヤボデーの取付位置が不適切なため、ストッパーリヤボデーの取付ボルトとリヤブレーキパイプの隙間が少ない車両がある。そのため、このまま使用を続けると走行中の振動により、当該取付ボルトとブレーキパイプが干渉し、ブレーキパイプに穴が明き、ブレーキ液が漏れ、ブレーキの効きが悪くなるおそれがある。		

5. 届出者：日産自動車株式会社

届出月日	届出番号	車名、型式、通称名等	対象台数	製作期間
6月24日	1464	車名：ニッサン 型式：CBA-C25等 通称名：セレナ	91	平成17年5月17日～ 平成17年6月18日
不具合の部位等	ディーラーオプション部品として販売された前部霧灯を装着した車両において、前部霧灯装着時に誤ったライトスイッチを組み付けたため、すれ違い用前照灯と前部霧灯を点灯させた状態で右側方向指示器を作動させると、走行用前照灯が点灯するとともに左側方向指示器が同時に点滅するおそれがある。			

[参考]

平成17年6月のリコール届出総件数		内 訳	
		対象台数100台以上	対象台数100台未満
国産車	26件	20件	6件
輸入車	10件	8件	2件
計	36件	28件	8件

※対象台数の追加の届出については届出件数に含まれません。

(問い合わせ先)

国土交通省自動車交通局技術安全部審査課 リコール対策室 中村、久手 電話 03-5253-8111 (代表) (内線42352・42353)
--